

せんだん

岩国市立米川小学校だより

令和6年度 No.5 9月2日発行

米川小学校長

米川小ゆるキャラ
「せんちゃん・だんちゃん」



〈周東町全小中学校教育目標〉

「ふるさとを愛し 心豊かに たくましく生き抜く 児童生徒の育成」

感謝の心は 人を大きく成長させる

今年度から2学期の始業が8月30日になりましたが、台風10号の影響を受け、休校の措置をとるスタートとなりました。7月20日から始まった41日間の夏休みと3日遅れの始業式でやっと学校に活気が戻ってきました。1学期の終業式の時とは違い、日焼けしちよっぴり背丈も伸びた子供達の姿に、たくましさを感じうれしくなりました。休業中に大きなけがや病気の連絡を受けることなく元気に過ごせていたことに安堵するとともに、保護者や地域の皆様には子供達の安全を見守っていただいていたことに大変感謝しております。夏休み中に体験した様々な活動や人とのかかわりが、2学期からの学校生活にプラスになると信じています。

さて、今年の夏休み中はパリオリンピックや高校野球といったスポーツを目にする機会が多く私自身もテレビにかじりついて声援を送り、その状況に一喜一憂する暑い夏を過ごしました。オリンピックにしても高校野球にしても、勝敗が付くことによって勝者と敗者という構図が浮かび上がります。選手への思いを馳せながら応援する側の私は、勝敗に関係なく選手へのねぎらいの思いがわいてきます。勝てば「すばらしい！」と思いがあふれるし、負けれても「あっぱれ！」と賞賛の気持ちになります。選手は勝つことをめざして今まで努力を積み重ねてきているので、勝てば誇らしい顔で全身で喜びを表現し、負ければ悔し涙で悲嘆していました。しかし、勝敗に関係なくどの選手にも見えたのは、戦いの後に感謝の言葉を伝える姿でした。これまで自分を支えてくれた監督や仲間。陰ながら支えてくれた家族。応援してくれた観客。「自分という人間を囲む全ての人が感謝の気持ちを伝えたい相手になる」ということは、どういうことなのだろうと考えます。私たちには、一人でできないことがたくさんあります。一人でできたと思っていることも、視野を広げて見ていくと誰かの手が添えられていることがたくさんあります。そこに気づけるか否かが重要なのではないかと思います。できて当たり前、やってもらって当たり前ではないのです。それはやはり「有難し」なのです。

2学期は1年間で一番長い学期になります。行事もたくさん計画されています。学習の中にも活動の中にも、今までと少しハードルの上がった課題を提示されることがたくさんあります。また、いろいろな人とかかわる場面も増えてきます。まずは自分のとなりで一緒に活動した人に、間をあけずに感謝の言葉を伝えていきましょう。「一緒に〇〇してくれてありがとう」「となりにいてくれてありがとう」等、何でも感謝です。感謝の心は、自分にも伝えられた相手にも気持ちのよい心として広がっていきます。気持ちのよさを味わうことが、人間性に磨きをかけてくれます。2学期は、自分の内面から大きく成長できる学期にしたいと思います。

9月・10月のおもな行事予定

9月12日(木) 耳鼻科検診
19・20日 6年修学旅行
26日(木) 4年社会見学
5年合同学習



10月 1日(火) 3年社会見学
4日(金) 1・2年社会見学
10・11日 5年宿泊体験学習
16日(水) 人権参観日、学級懇談会
CS会議
24日(木) 就学時健診

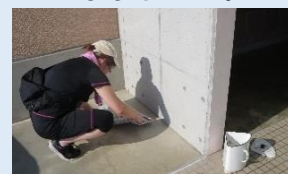
防災キャンプ

8月3・4日に1泊2日で防災キャンプが行われました。1日目はプールで「ういてまて」の訓練、2日目は避難カードの作成や島田川での水中歩行や「ういてまて」の訓練を行いました。そうめん流しや花火、肝試し等のお楽しみ活動もありました。



奉仕作業

8月18日の登校日に、奉仕作業が行われました。畑や裏庭、グラウンドや花壇、そしてトイレがとてもきれいになりました。これで、2学期からの学校生活を気持ちよくスタートすることができます。暑い中の作業でしたが、皆様ありがとうございました。



お知らせ

この度、8月1日付けで事務主事 窪田 麻莉 が育休から復帰いたしました。それに伴い代替として勤務しておりました 二本柳 早苗 が玖珂小へ転任しましたことをお知らせいたします。二本柳主事においては約2年間本校の事務を担当し、滞りなく業務を遂行することができました。保護者、地域の皆様には大変お世話になりました。

窪田主事につきましては、年度途中の復帰となりますが、これまで同様変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



学校だよりのご意見・ご感想は、いつでもご連絡ください。(米川小：84-0607)